

大道芸アジア月報 2025 年 5 月

vol. 37, no. 5

編集・発行人 上島敏昭

〒165-0025 東京都中野区沼袋 2-31-2

春山荘・東

★大道芸案内

主な大道芸スポット（土・日・祝日など、通年大道芸が見られるポイント）

■大阪・天保山海遊館広場 <https://www.kaiyukan.com/thv/marketplace/>

■大阪パフォーマーライセンス <http://www.osaka-performer.com/index.php>

■名古屋・大須ふれあい広場 ■名古屋 POP UP ARTIST <http://popup-artist.com/index.html>

■しずおか大道芸の街 <http://shimaruikai.org/> ■江ノ島大道芸 <https://www.fujisawa-kanko.jp/feature/daidoge.html>

■ヨコハマ大道芸（山下公園、グランモール公園、） <http://daidoge.jp/>

■中部大道芸ネットワーク <https://www.facebook.com/mrkrddg>

■仙台まちくるパフォーマーズ <https://machi-kuru.com/performers>

■東京都ヘブンアーティスト（「東京都文化生活スポーツ局—文化振興」で検索）

★今月の大道芸公演

△深川お化け縁日 2025 春の陣 <https://fukagawakaidan.tumblr.com/> ○深川資料館通りほか

●5 月 3（土祝）

恐怖紙芝居の〇〇一味、妖怪プロジェクト

△第 9 回ながの獅子舞フェスティバル ○長野駅前および中央通り 8 会場

●5 月 3（土祝）10：00～16：00 <https://www.city.nagano.nagano.jp/n150500/event/p000051.html>

長野市内の獅子舞継承団体 74 組が出演

△ガーデンシティ多摩センターこどもまつり 2025 https://x.com/tama_kodomo ○多摩センター駅前ほか

●5 月 3（土祝）～5（月祝）

△清水みなと大道芸 2025 <https://www.dream-plaza.co.jp/events/2588/> ○静岡市清水区エスパルスドームプラザ

●5 月 3（土）～5（日）

スペシャルアドバイザー：三雲いおり、石黒ヨンペイ（3 日・4 日）、KANA∞（4 日、5 日）、ジェームス（4 日）、Witty look（5 日）

（5/3）to R mansion、こ～すけ、SUKE3 & SYU、シルヴブレ、サンキュー手塚、ジョー次、松本かなこ、タカバーチ、

★体験ブース：占術師団 透視眼鏡、ミホウペイント、なるせ女剣劇団

（5/4）桔梗ブラザーズ、りずむらいす、GAKU、リユーセイ、Jonas(Liang Chia Jen)、松本かなこ、アートパフォーマー☆ファイター☆

★体験ブース：ジョー次の独楽屋さん～ディアボロ体験教室～、ミホウペイント、一期一縁

（5/5）桔梗ブラザーズ、豊来家幸輝、佐々木カンタ、VK.Vich（ウィーケー・ウィッチ）、油布直輝、アストロノーツ、プリコロハウス

★体験ブース：ジョー次の独楽屋さん～ディアボロ体験教室～、Gakkey、なるせ女剣劇団

△とよはしアートフェスティバル 2025 <https://toyohashi-at.jp/event/performance.php?id=1823> ○とよはし芸術劇場

●5 月 3（土祝）～5（月祝）

Asterisk NOVA、idio2、Okk、加納真実、ガンジスインダスドードス、芸人まこと、こ～すけ、ココナッツ山本、シルヴブレ、

SUKE3&SYU、竹内直 The Organic Resonations、チャラン・ポ・ランタン、中国雑技芸術団、ブラックエレファンツ

5/4（日・祝）17：00 より 竹内直 The Organic Resonations スペシャルライブ 会場：PLAT 主ホール 要申込み

△ストレンジシード静岡 <https://strangeseed.info/> ○駿府城公園、青葉シンボルロード、常磐公園など静岡市内

●5 月 3（土）～5（月祝）

ストリートシアターフェス：ゼロコ、ジャグリングユニット・フラトレス、長岡岳大・長井望美ほか

△MAY AT THE GREEN 2025 -麻布台ヒルズのゴールデンウィーク- ○麻布台ヒルズ中央広場

●5 月 3（土）～6（火） https://www.azabudai-hills.com/whats_on/2025/04/0163.html

フォレストマン&ムッシュー（to R mansion）、Mr.Bright、スーパーサウンドマン、STILTANGO、Moreno Bussoletti & Paul Florea

△大道芸博 2025～NAGOYA stage～ <https://www.eventbanking.com/daidogehaku> ○名古屋市・オアシス 21

●5 月 3（土）～5（月祝）

△TACT FESTIVAL 2025 <https://www.tact2025.jp/streetperformance> ○池袋西口・グローバルリング

●5 月 4（日）～6（火）

大道芸▲ユキンコアキラ、STILTANGO、Juggler Laby、HARO

サーカス▲各日 12:00&15:00 Circus unARTiq (Lisa Rinne & Andreas Bartl) 会場：芸術劇場前広場

影絵▲4 (日) 5 (日) 19:00 川村亘平斎の影絵と音楽『それは誰のための花?』会場：グローバルリング内特設会場

△あおばフェス 2025 <https://aobafes.com/> ○静岡市・青葉シンボルロード

●5月10 (土) 11 (日)

おろしぼんづ、片腕のマジシャン HAKU、Gakkey、くす田くす博、クラウンタケコ、サンキュー手塚、少年と少女、パフォーマーえはら、スーパーアイドル星丸、HOOPER MAEP、三雲いおり、ミコアポコ、ももっち、Ray 麗、Rei Iwakura、レプリカさん

△高須中大道芸フェス 2025 <https://x.com/takasudaidougei/status/1904481258325016941> ○鹿児島県鹿屋市

●5月10 (土) 11 (日)

大道芸人ジーニー、エル、紙磨呂、ガンジスインダスドーダス、ストレンジ・ディッシュ、UNI DOLL、Honoka、すり〜び〜す、E.M.F、石田さん

△ひたち国際大道芸 <https://www.civic.jp/event.php?mode=detail&f=1&code=239> ○日立市

●5月10 (土) JR 日立駅前(日立シビックセンター周辺) /5月11 (日) JR 常陸多賀駅前(よかつぺ通り周辺)

中国雑技芸術団、大駱駝艦、加納真実、芸人まこと、GABEZ、Asterisk NOVA、Dctpeppers Theatre、ココナッツ山本、Suke3&SYU、セクシー-DAVINCI、Juggler Laby、こ〜すけ、Entertainer Hi2、idio2、EPPAI、マサトモジャ、EPPAI&マサトモジャ、松鶴家天太、Yo-Yo Entertainer TOMMY、clown ものまる、竹内直 The Organic Resonations、ブラックエレファント、K-TARO、Okk、nani-sole、Yuka and Giovanni Gypsy Duo

△エンターテインメント亀戸! Vol. 25 <https://www.kameidodaidougei.com/archives/3305> ○亀戸十三間通り商店街

●5月11 (日) 12:00-16:00

パントマイムアーティスト前田秀、Mr ふじやん。、PERFORMER さぶれ、黒鉄の剣闘士、アートパフォーマー☆ファイター☆、ナミダツブ、音姫金魚、紫穂、ハードパンチャーしんのすけ

△東京蚤の市 https://tokyonominoichi.com/2025_spring/ ○国営昭和記念公園

●5月16 (金) ~ 18 (日)

金子しんぺい (16-17)、K点軌道 (16-18)、Koji Koji Moheji (16-18)、コメカミマスター (16-18)、TheWorthless (18)、津津浦浦(16-18)、バブリン先生 (16-18)、p0p0balloon パール／はるび (16-18)、マチーデフ (16-18)、りーあんの葉切り絵 (16-18)

△ふくやま大道芸 <https://fukuyama-daidougei.com/> ○広島県福山市

●5月17 (土) 18 (日)

パフォーマーASUKA、アストロノーツ、大道芸人 S4、おろしぼんづ、おんぷらんと、カキツバターズ☆、Statue KaI、GAKU、紙磨呂、加藤みきお&加藤ひろみち、叶結 KanouKnot、切り絵たかし、97、クッキー&キャンディー、くす田くす博、kenshiro、サクノキ、コマ回しパフォーマーkomatan、サンキュー手塚、しろみときみ、シルヴプレ、じゃぐたく、スピニングマスターズ、SPIN stAr、ソランポ・ソラン、パフォーマー穹、Creator CHIKI、チムチムサービス、大道芸人ちんねん、けん玉伝承、to R mansion、中村友美、ナニコレ?劇団、ハタダ、豊来家幸輝、ブンブク、HOOPER MAEP、芸人まこと、まわりみち、松本かなこ、三雲いおり、ミコアポコ、目黒宏次郎、メランコリー鈴木、Monsieur みの吉、ものまる、Juggler Laby、りずむらいす、リューセー、渡辺あきら、渡辺 翼、吉川健斗、SAME SAME(2024GP)、DANCHO(コンシェルジュ)

△東京ナイトマーケット <https://tokyo-night-market.com/202505/busker/> ○代々木公園けやき並木

●5月22 (木) ~ 25 (日)

5/22 (木): アートパフォーマー☆ファイター☆、ドラマチック・ガマン

5/23 (金): 曲芸師 太平洋、ドラマチック・ガマン

5/24 (土): 結城敬介、リューセー、ドラマチック・ガマン

5/25 (日): しゅうちょう、ペン回しパフォーマー Kay、Juggling Performer DAISUKE

△未来型花火エンターテインメント STAR ISLAND2025 <https://star-island.jp/#about2025> ○お台場海浜公園

●5月24 (土) 25 (日)

△大岡川水上劇場 2025 <https://oookagawa.jp/> ○横浜市日ノ出町・日の出桟橋

●5月25 (日)

ウニアン・ドス・アマドーリス、クラウンジュカ、チチンパイパイ、油井ジョージ ワンマンバンド、日ノ出サンデーズ、idio2、Suneo & Gian、伊勢賢治バンド、桔梗ブラザーズ、横浜ストレッチスタジオ、ひとみ & Friends、漢組 (おとこぐみ)

△千葉開府 900 年記念 大道芸フェスティバル in ちば 2025 <http://www.daidougei.org/index.html> ○千葉市

5/24 (土) 千葉みなと港湾緑地

太平洋、Yo-Yo Entertainer TOMMY、SEOPPI、ゆうき、片腕のマジシャン HAKU、Performer Suga、東雲ゴールド

5/25 (日) 千葉駅周辺および千葉市中心街

△第 31 回深川美楽市 (のらくろ〜ド) <https://www.birakuichi.com/> ○江東区高橋商店街

●6月1 (日)

若林正の

食って極楽

蕎麦屋いいね！

千歳烏山「藪乃大作」

後輩の芝居を観に千歳烏山にやってきました。半世紀以上前に叔父の引っ越しの手伝いで来たことがあったっけ。畑ばかりの田舎だなあと思った覚えがある。しかし今は駅前が賑やかで、ずいぶん明るい。この沿線はどこの駅前商店街も活気があり、暮らしやすそう。羨ましいね。しかしチェーン店ばかりで面白くない。歩き始めてまもなく、旧甲州街道沿いに蕎麦屋を発見。

こんな街蕎麦屋は久しぶり。「藪乃大作」。迷わず入店。意外と広い店内は、お昼時でもあり家族連れやグループ客で埋まっている。メニューを見ると、けっこうお安いみたい。奮発(?)して、天ぷらせいろ¥950 を蕎麦大盛り+¥150 で注文。ほどなく来た蕎麦がなかなか豪華！海老天三尾にナス芋ピーマン、せいろ蕎麦が二枚。上段のせいろが大盛りで、こりゃ食ってやがるわと思ったが、下段は控えめの盛りで少しガッカリ。でもお値段にしては素晴らしいボリュームだ。蕎麦のお味は、まあ街のお蕎麦屋さんといった感じだが、冷たく締められている。



天ぷらも揚げたてで熱々、海老天もちゃんと衣の先まで身が入っている。少し小振りだが美味しい。あつという間に平らげて蕎麦湯で大満足。ご馳走さまでした。

○こんな街蕎麦屋、近所であれば度々7ワカ

大道芸・見たり・聞いたり・演じたり
☆その 399

野毛大道芸の「Workers」

上島敏昭

○瀬戸内サーカスファクトリー

4月19日、野毛大道芸に行ってきた。今回の目当ては瀬戸内サーカスファクトリーの現代サーカス「ワーカーズ」である。

瀬戸内サーカスファクトリーは香川県高松市を根拠とするカンパニー。主宰の田中未知子さんは、北海道新聞に勤めていたとき、サーカスの招聘や公演に携わったのが縁で、その魅力にとりつかれ、新聞社を辞めてフランスに留学し、コンテンポラリーサーカスの現状を学んだという経験の持ち主である。『サーカスに逢いたい〜アートになったフランスサーカス』（現代企画社刊、2009年）の著書がある。

越後妻有アートトリエンナーレのパフォーミングアーツ部門の企画運営に加わったのち、高松市にカンパニーを立ち上げた。なんで高松に？と疑問に思ったものだが、フランスのパフォーマンス界との太いパイプと新聞社勤務時代からのネットワークを活かし、地元の企業や行政などと協力関係を結び、地道に活動して足元を固めて活動の幅を広げてきた。最近では若手パフォーマーが何名も高松に移住して、協同して創作活動をはじめた

と聞いていた。東北の地震やコロナ禍など、新しいエンターテインメントを作るには逆境の時代に、大変な行動力である。



今回のワーカーズという作品は、若いパフォーマーとの協同創作で、高松を中心に四国の各地ではしばしば上演されているようだが、首都圏では今回がおそらく初めてだろう。サーカスは一般的には曲芸軽業のバラエティだが、現代サーカスを標榜するこのグループのパフォーマンスは起承転結のある、ひとつの作品となっていると思われる。

●会場は成田山別院駐車場

一日2回公演の一回目を見た。30分前に現場に到着すると、地べたに敷

かれたシートには家族連れなどもう百人ぐらいが座っていて、すでに満席。その後ろにやはり百人ぐらいは立って開演を待っていた。天気もよく、初夏のようなちょっと汗ばむ気候。大道芸日和とっていいだろう。ぞくぞくと人が集まってくる。

会場は、成田山別院の駐車場で、バックは崖。崖の上に成田山別院の建物がある。その崖に立てかけるように、二間ほどの長さの柱が6本、それより少し短い柱が十数本、などなど置かれていて、地面にも短い材木や学習機の天板ほどの大きさの厚い板などがたくさん積んであった。みな白木のかなり上質とおぼしい材木で、小さな家なら一軒建てられそうな分量だ。

時間がくるとカンパニー主宰の田中さんがマイクをもって挨拶と簡単な説明をおこなった。この作品はほんらい劇場用で、今回は野毛大道芸のために短縮し簡略化した。また出演者は6人で、一つの稽古場でトレーニングする仲間とのこと。言葉のはしばしからなみなみならぬ意気込みが伝わってくる。

●大工仕事のパフォーマンスに

そのあとすぐにパフォーマンスがはじまった。まず図面を持った男とその指示に従って地面に印をつけるコンビが登場。その印と印を結ぶ。すると女性パフォーマーが登場し、その線上を爪先立ちでバレエのように歩く。

つづいてつぎつぎパフォーマーたちが登場し、一人、また一人と、周りに置いてある材木を持って、印を付けられたあたりに運んで並べていく。

長いものは二人で運び、短いものは一人で、もっと短いものはみなが一列に並んでリレーで運ばれる。これがリズムカルでみるみるうちに、一間半四方ほどの「口」型の土台が出来上がる。その各辺に二本ずつ材が組まれて、より頑丈な「囿」の字型の土台になる。その土台に短い柱が立てられて、その上にやはり「囿」に字型の材が載り、柱と柱の間に板がはめられて側面が整い、上面に 9 枚の板が置かれると、大きき一間半四方で高さ 60 センチほどの舞台が出来上がった。

この舞台には下に滑車が付けられているようで、パフォーマーたちが押すと前に横に後ろにと自在に移動する。みなで押して、すこしお客の近くに舞台を押し出して、そこに固定して舞台の上でパフォーマンスを始めた。舞台面にボールを転がすジャグリング。一個のボールから 2 個、3 個・・・とだんだん数が増えていく。

しばらく見せたあと、つぎにいよいよ二間ほどのかなり長い柱を持ち出した。立てるものだと思いきや、一方を地面に置き、もう一方を高く持ち上げて、斜めにした柱の上を、身軽な男がひょいひょいと登っていく。その隣に同じように、数本の柱材が斜めにわたされると、男はそこに乗りうつる。数本の柱を乗り移っているうちに、柱は地面の接点を中心にして、ゆっくりと廻りはじめ、しだいに先端は離ればなれになる。

そうして一本だけこのパフォーマンスから離れて、舞台に運ばれ、舞台の隅に柱が立てられる。女性が柱にロープを掛けて柱の登り降りなどのパフォーマンスを演じる。ロープを腰に巻きつけて手放しで、柱に裸足で立ったり、逆立ちしたり、いわゆるサーカスっぽい曲芸が始まる。そのパフォーマンスが一区切りすると、残りの三隅に柱が建てられ、家の枠のようなものができた。今度は四本柱に一人ずつパフォーマーが取り付け、チャイニーズポール風の、いわゆる「人間鯉のぼり」のよ

うな演技を見せたりしたあと、最終的に四本柱の上に、対角線に材木を渡して建物を完成させた。そしてその柱の上の対角線の交差する所から、ちょうど舞台の中央に S 字型に近い流木を吊るして、それを利用してエアリアル演技を演じてパフォーマンスは終了した。

そして最後に、6 人の出演者全員で餅まき。新築の家の柱が組みあがったところで行う、通称「建前」のご祝儀行事である。絶好の天気にも恵まれ、おおいに盛り上がりパフォーマン

●見終わっての感想

見終わった時点で、思ったことが 3 つある。ひとつは、材木がよくできているということ。白木の材はそれだけできれいだが、柱と柱の接合部や、柱と柱のあいだに挟む板材などが、ピタッと気持ちよく嵌る。ホゾとホゾ穴、板の厚さと溝の幅が絶妙なのだ。きつすぎず緩すぎず。柱に丸穴が開けてあり、そこに丸棒を入れて、こちらから叩くと、ロケットのようにポーンと飛んで、向こうにいる相手の元へ送るという芸があったが、この技術があればこそ、の芸だ。

二つ目は、建前の餅まきが、いかにもお祭りっぽくて良かった。子供の頃、私の田舎の長野県ではよく見かけたが、もう何十年もそんな光景にはお目にかかっていない。大道芸はこうした伝統や記憶と結びつくより豊かなものになると思う。

三つ目は、批判的なことになるが、建物を建てて終わり、というのではまずいのではないかと。これだと 2 回目をおこなうためには、解体作業をしなければならない。その作業に休憩時間をあてたのでは休憩にもならない。大道芸は、演じ終わったとき、はじめたときと同じ状態になっていることが望ましい。これでは、つぎの演者がこの場所でパフォーマンスができない。餅まきが終わったら、超特急で解体するパフォーマンスをやって最初の状態にもどして終わらせるべきだ。そんなことを考えながら会場を離れようとすると、沢入国際サーカス村

の西田敬一さんに出会った。去年暮れのサーカス学校発表会でお目にかかって以来だ。久しぶりなので、一緒にサーカス学校の油布直樹さんのシルホイールを見たあと、食事しながら話をした。

わたしが、先の三つの感想をいうと、西田さんは、サーカスらしい芸がない、というような意味のことを仰った。たぶん圧倒的な身体技術を見せつけるような芸がないということだろう。たとえば最後の演目のエアリアルでさえ、二間の柱、3.6m から吊り下がるだけだから、やはり迫力に欠ける。

わたしはむしろ、伝統芸能に似たようなものがあることを話した。最後のエアリアルについていえば、宮城県の雄勝法印神楽の「鬼神」の見せ場にそっくりなのだ。その神楽では二間四方ぐらいの舞台の四隅に柱が立ち、その柱の上に対角線に竹を渡す。この舞台の形がそもそもこのワーカーズの舞台とそっくり。神楽ではその上に鬼神が乗ったりぶら下がったりして芝居をする。ぶら下がりポーズを見せるサーカスよりずっと迫力があって、私は好きだ。大衆演劇に伝わっていた四つ綱も似ている。これは客席の上に対角線に綱を張って、綱渡りやぶら下がりを見せる。化け猫や道成寺などで使用したらしい。おそらく初期の歌舞伎が、綱渡りの芸能である蜘蛛舞の影響が大きかったことと関係しているのではないかと思う。

そういえば今回のワーカーズでは、はじまりこそ芝居仕立てであったものの、あとは材木の組立てと、ジャグリングやダンス、ポールダンス、エアリアルなどの曲芸軽業芸の羅列であった。そうした芸をナマのまま、個別でみせるのではなく、いくつかを組み合わせたり彩りを変えたりして、全体を芝居仕立てにすることもできたのではないだろうか。

西田さんとは、そんな話を一時間ぐらいたった。ひとつの作品をみて、突っ込んだ話をするのも久しぶりのこと。おかげでほかのパフォーマーはあまり見なかったが、これはこれで有意義な一日だった。